

第3章 本市がめざす教育の姿

1 教育大綱「基本理念」

「子ども」が輝き 「人」が学び合い
ふるさとに愛着と誇りをもち
躍動する元気なまち 近江八幡

～元気と笑顔の合言葉「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」～

子どもの豊かな心と健やかな体、確かな学力を育み、自らが考え判断し、多様な人々と協働して、様々な社会的変化を乗り越え豊かな人生を切り拓く「生き抜く力*」を育てます。また、子育てなどを通じて親も子どもとともに成長し、市民一人ひとりが生きがいを感じ、ふるさとに愛着と誇りをもてる教育行政をより一層推進することで、学校園・家庭・地域の活性化を図り、躍動する元気なまち「近江八幡」の実現をめざします。

元気と笑顔の合言葉「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」

平成 18(2006)年に国民運動として始められた「早寝・早起き・朝ごはん」に、本市では、「挨拶・読書・運動」も加え「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」として、子どもの基本的な生活習慣の確立をめざし、始めたものです。

●早寝・早起き

眠りは心身を休養させ、からだをつくり、学ぶ意欲を高めます。
習慣化することで、正しい生活リズムが身につきます。

●あいさつ

あいさつは人とつながる第一歩です。
また、良好な関係を築いていくための生きる知恵です。

●しよくじ

朝食は一日の元気の源です。朝ごはんのエネルギーで体温が上がり、脳と体の働きが活発になり、やる気を生み出します。

●どくしょ

読書は、知識や読解力を高めるだけでなく、感じたことや疑問に思ったことを調べたり、共有したりする「きっかけ」になります。また、新しいアイデアや表現方法を得ることにもつながります。

●うんどう

たくましく生きるための健康や体力を養います。また、相手への敬意や思いやりの気持ち、仲間と協力することの意義を学び、心の成長にもつながります。



2 教育大綱「3つの柱」

①子どもが育つ ②親が育つ ③市民(人)が育つ

基本理念の実現のためには、市民一人ひとりが教育を通じて、自ら高め合うことが必要であり、主体となるべき項目を3つの柱として掲げました。

① 子どもが育つ

子どもの成長は、まちの将来の創造につながります。次代を担う子どもが、自らに誇りを持ち、多様で変化の激しい社会を「生き抜く力*」を伸ばす取組をすすめます。

② 親が育つ

子どもは、身近な大人としての親を見て育ちます。親自身が成長し子どもの規範となることで、子どもの成長にも好影響があることから、親自身が成長できる取組をすすめます。

③ 市民(人)が育つ

だれもが生き生きと暮らすためには、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも、学ぶことが大切です。また、市民が主体的に学び、互いに交流することで成長できる取組をすすめます。

3 教育大綱「5つの目標」

基本理念、3つの柱を方針として、具体的に取り組むための考え方を5つの目標として掲げます。

- ①子どもの豊かな心と健やかな体、確かな学力を育成します
- ②ふるさとに愛着と誇りをもち、地域や社会に貢献できる人を育成します
- ③新たな時代を見据えた学校園づくりを推進します
- ④家庭・地域の力を高め、社会全体で子どもを育てます
- ⑤生涯にわたり学び続けるまちをめざします

目標① 子どもの豊かな心と健やかな体、確かな学力を育成します

基本的な生活習慣の確立を図り、命を大切にするとともに、思いやりの心、自尊感情*など豊かな心を育てるため、道徳教育*や人権教育に取り組むとともに、生涯にわたり、たくましく生きる健やかな体の育成をめざします。

また、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、自らが課題を見つけ、考え判断し、解決していく「確かな学力」を育みます。

目標② ふるさとに愛着と誇りをもち、地域や社会に貢献できる人を育成します

地域の歴史・自然・伝統・文化等ふるさとへの理解を深め、ふるさとを愛し続ける心や誇りに思う心を育みます。そして、その学びや経験を生かし、ふるさとの魅力を発信するとともに、自分が生まれ育った地域を支え、社会の担い手となる人を育てます。

目標③ 新たな時代を見据えた学校園づくりを推進します

教員の指導力の向上や学校園経営の充実、教職員の健康管理や働き方改革に取り組むとともに、学校園の特色を生かした取組や多様な学習形態に対応できる教育環境の整備など安全・安心かつこれからの時代に柔軟に対応できる学校園づくりをすすめます。

目標④ 家庭・地域の力を高め、社会全体で子どもを育てます

全ての教育の基礎となる家庭の教育力の向上を図るとともに、子どもの成長を支える最も身近な親の子育てに関する相談や支援体制の充実を図ります。また、家庭・地域の力を生かした「地域とともにある学校園づくり」をすすめ、社会が一体となって子どもを育てます。

目標⑤ 生涯にわたり学び続けるまちをめざします

「人生100年時代*」を見据え、子どもだけでなく市民のだれもが豊かに生きていくために、生涯にわたって学び、生き生きと活躍し続けられるまちをめざします。

4 教育大綱「19の施策」

5つの目標から19の施策を掲げます。

目標①

- 施策 1 自ら学び、考え、協働できる「学ぶ力」の育成
- 施策 2 多様な個性を理解し、自他を尊重する人権感覚の育成
- 施策 3 不登校やいじめ・問題行動などへの取組や支援の充実
- 施策 4 特別支援教育の充実
- 施策 5 就学前からの学びをつなぐ校種間のなめらかな接続の推進
- 施策 6 情報化・グローバル化に対応した教育の推進
- 施策 7 運動と食習慣の定着による健康の保持・増進

目標②

- 施策 8 地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進
- 施策 9 豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進
- 施策 10 社会的・職業的自立につながるキャリア教育の推進

目標③

- 施策 11 教員の資質・指導力の向上と学校園の組織力の充実
- 施策 12 安全・安心で豊かな教育環境の整備・充実
- 施策 13 急速な情報化社会や技術革新に対応した教育環境の整備・充実

目標④

- 施策 14 学校園・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組む体制の確立
- 施策 15 家庭における生活習慣、学習・読書習慣の定着と地域の力を生かした学びの充実
- 施策 16 子どもの育ちを支える親の学びや相談・支援体制の充実

目標⑤

- 施策 17 多様な学習機会の充実
- 施策 18 文化芸術に触れる機会の充実とスポーツ活動の推進
- 施策 19 読書活動の推進と読書環境の充実